

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

1 今年度の目標

- 継続事業はもっと魅力度を高め参加者を増やし、新規事業の具体化を図り、地域の人たちがもっと郷土に愛着が持てるようにする。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	河内まつり	(10) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 0 月 3 1 日 ~ 令和 8 年 1 1 月 1 日	
(2) 実施場所	広島市立河内小学校、広島市河内公民館	
(3) 参加者数	1, 2 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	ステージ部門 ; 河内小学校体育館 (「青少年の主張」の表彰) バザー部門 ; 河内小学校グラウンド 展示部門 ; 河内公民館 送迎用シャトルバス運行	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 従前の文化祭・芸能祭を集約・拡大して実施している本行事に地域全体で取り組むことで、地域の代表的なイベントとして定着させていきながら、河内地区のコミュニティ活性化を図る。 4 回目の開催となる今年度は、ステージ参加者の増加に向けた改善策を検討しながら、実施に向けて取り組む。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 河内まつりの実施を通じて、新たな地域住民の交流や世代間交流、各種活動の担い手の発掘などを図ることができる。	

令和8年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	ウエルカム食堂こうち（子ども食堂）	(10) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	年 7 回	
(2) 実施場所	広島市河内公民館	
(3) 参加者数	延べ800 人（見込み）	
(4) 主催団体	こうちっこサポートクラブ、河内地区社会福祉協議会、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	年7回、地域住民を対象に、子どもたちと親や地域の人たちに参加を呼び掛け、手作り料理を低料金で子供を中心に一緒に食事をしたり、多様な世代で交流する場を提供する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 河内地区でも共働きなどのため、子どもひとりで食事をしたり、インスタント食品で済ませる家庭が増えているため、子どもの居場所づくりや多様な世代が交流できる場の提供に取り組む。令和6年度から実施し、毎回子どもをはじめ大人達も多く参加していることから、今年度も可能な限り他の事業と連携する形で定期的を開催する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 栄養バランスのとれた手作りの料理を提供し、たくさん子どもたちと一緒に食事をする場を設けることで、子どもだけでなく子育てをする親や地域住民の憩いの場として幅広い世代間の交流を図ることができる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	河内トリビア	(10) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	広島市河内公民館ほか	
(3) 参加者数	1, 5 0 0 人（見込み）	
(4) 主催団体	河内地区長寿会連合会、広島市河内公民館、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	地域の歴史的遺産や言い伝えなどを紹介する「河内トリビア」を毎月発行する「公民館だより」に掲載する。 今年 6 月に連載 3 年目となり、節目としてこれまで掲載した内容を取りまとめて冊子を作成する。その後、掲載継続することについて検討する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 河内地区には歴史ある建造物等が多くあるが、若い世代は知らない人が多い。地域に残る歴史的な知識や雑学を記録し、それらの史実や言い伝えを地域住民の日々の暮らしに浸透するとともに、後世に伝承する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の歴史を知ってもらうことで、地域住民同士が話し合うきっかけづくりにつながる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	河内かるた制作	(10) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	広島市河内公民館ほか	
(3) 参加者数	1, 5 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	河内地区活性化運営委員会、河内地区長寿会連合会、こうちっこサポートクラブ、広島市河内公民館	
4 取組内容	河内の特色（自然、遺跡、伝統文化など）、各団体の活動（防犯・防災、福祉、環境など）を題材にした地域独自のかるたを地域住民とともに制作する。 今年度は、昨年度までに作成した文案・絵を基にかるたを制作し、完成後は関係者に配布するとともに、かるた大会を開催する予定。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 河内地区も田畑をつぶし宅地が進み、新しい人たちが入ってきており、昔から住んでいる人たちとの交流が少なくなっている。こうした中で地域の人たちに地域の特色である自然や歴史、人々の活動を知ってもらい、地域を理解し愛着を持ってもらう手段としてかるたを制作し、地域の人々に活用し楽しんでもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 古くからいる人も新しい人も地域に愛着を持つことで、地域の特色や活動を継承し、新しい交流や活動が生まれる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災意識の向上	(10) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 6 月、9 月	
(2) 実施場所	広島市河内公民館	
(3) 参加者数	<u>100</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	<u>河内地区自主防災会連合会、河内地区活性化運営委員会</u>	
4 取組内容	河内地区の各自主防災会員や住民を対象に、災害に対する知識や防災対策などについて、広島工業大学の学生防災士会や専門家による研修会、講演会を実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 当地区は平成 11 年 6 月に大きな土砂災害の被害を受け、五日市活断層がありながら地域住民の災害に対する意識は低くなっており、こうした研修会や講演会を通じて、防災対策の重要性を再認識してもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 火事や地震や土砂災害をめぐる恐ろしさを身近に感じてもらい、日頃からの防災対策の重要性について地域住民に知ってもらうことで、一人一人の防災力の向上につながる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	防犯イベント	(10) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	広島市農協旧河内支店、河内地区一円	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	河内地区防犯組合、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	- 毎年 1 2 月に開催する安心・安全なまちづくり年末大会でキャンペーンの一環として、イルミネーションを当建物壁面に設置する（1 1 月初旬～1 2 月 1 日）。 建物の屋上に仮設手すりを設置して、安全に設置作業を行う。 - 毎月 2 回、各町内を青少年の安全パトロールを車で行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民が犯罪や事故のない安全・安心な暮らしを送れるよう、河内地区の中心部への入り口にある広島市農協旧河内支店の建物にイルミネーションを設置し、地域住民へ安心・安全なまちづくりの呼び掛けを行う。 イルミネーションの設置作業に当たっては、高齢者が多いメンバーが危険な高所作業を安全に行うため屋上に手すりを設置する。 また、幼稚園や小学校の児童生徒の登下校や日常の生活において、交通安全や防犯を注意喚起するため、各町内をパトロール車で声掛けしている。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） この場所は学校や児童館、公民館へ行く道沿いにあり、イルミネーションを設置することで、地域住民の安心・安全な地域づくりへの意識の高揚や、地域への愛着を育むことにつながる。また、安全パトロールを毎月定期的の実施し、子どもたちの安全を呼び掛けることにより、子ども本人や周りの住民に意識を高めることになる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	河川敷の草刈り・花の植栽	(10) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	河川敷の草刈り；令和 8 年 4 月 花の植栽；令和 8 年 7 月・11 月	
(2) 実施場所	河川敷の草刈り；フレスタ前 花の植栽；町内ゴミステーション	
(3) 参加者数	延べ 70 人（見込み）	
(4) 主催団体	河内地区公衆衛生推進協議会、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	河川敷の草刈り；5 月に小学校 4 年生によるアユの放流が実施されるため、当該地域やその周辺の河川敷に生える草木を刈る。 花の植栽；年 2 回河内地区全体のゴミステーションにその季節の花を植栽する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 河川敷の草刈り；八幡川に生息する生物の種が減少し失われていく中で、アユの復元と小学生の環境教育のためにアユの放流が実施されており、その際の児童の安全確保等のため、草刈りを実施する。 花の植栽；ゴミステーションをきれいな花で飾ることにより、周辺の住環境の美化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 八幡川の自然環境や日常の住環境を保全する大切さを知ってもらえるとともに、この地域ならではの取組みを行うことで、郷土愛を育むことにつながる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	ウォーキング大会	(10) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	未定 (河内地区内)	
(3) 参加者数	80 人 (見込み)	
(4) 主催団体	河内地区町内会連合会、広島市河内公民館、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	地域住民を対象に参加を募集し、インストラクターの指導を受けながら、河内トリビアで取り上げた歴史的な場所なども含め、予め設定した河内地区内の散策ルートをめぐるウォーキング大会を実施する。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) スポーツ大会の参加者が減っている。また、地域住民が集まり、活動したり交流する場が少ない。高齢者の外出する機会が少なくなっている。従前から個人個人で行っているウォーキングへの支援や高齢者等の健康対策、生きがいの動機付けとして実施する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 地域住民の健康増進や生きがいづくり、住民同士の交流につながる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	伝統文化の継承事業	(10) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月	
(2) 実施場所	広島市立河内小学校	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	こうちっこサポートクラブ、河内芸能保存会、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	こうちっこサポートクラブ主催の星空映画会と併せて夏祭りを開催し、参加する子どもや大人が、地域伝統の踊りである「河内音頭」を地域の指導者に従い練習・習得するとともに、習得した踊りや（同じく伝統文化の）「キソン踊り」を秋の河内まつりで披露する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 従来、毎年河内地区では盆踊り大会を実施していたが、参加者が少なくなりつつあり、コロナ禍を契機に中断した。また、河内地区では、新しい人たちが入ってくる一方で、昔から住んでいる人たちとの交流の場が少ない。 こうした中で、夏の行事の開催希望があったことから、令和 7 年度に新しい形の夏祭りとして復活させた本事業の継続・発展を通じて地域住民の交流を促しながら、伝統文化を継承していく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の夏の恒例行事として子どもや大人と一緒に楽しむイベントを定着させ、地域伝統の踊りを普及させることで、地域住民の交流、伝統文化の継承につながる。	

令和 8 年度 河内地区活性化運営委員会事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	ビオトープづくり	(10) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	
(2) 実施場所	八幡川	
(3) 参加者数	未定 人（見込み）	
(4) 主催団体	河内地区町内会連合会、河内地区活性化運営委員会	
4 取組内容	- 八幡川（支川を含む）に従前から生息していたホタル、カワニナ、川魚等の小生物や植物を再現するため、専門家によるアドバイスを受け、現地調査する。 - 地域住民に八幡川という自然環境に関心を持ってもらい、生態系を復元する機運を醸成するため、講習会等を開催する。 - 復元するための法的な手続や整備手法、管理する人の確保などを進める。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民の八幡川への関心が薄くなる中、かつてあった豊かな生態系を調査し、復元する方法を探り、それを実現することにより、川は鳥やホタルなど多くの生物や植物が生息する地域の魅力であることを知ってもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 八幡川の豊かな自然環境を復元することにより、地域住民が親しみをもち、大切にす る気持ちや機運を育むことにつながる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	特になし		